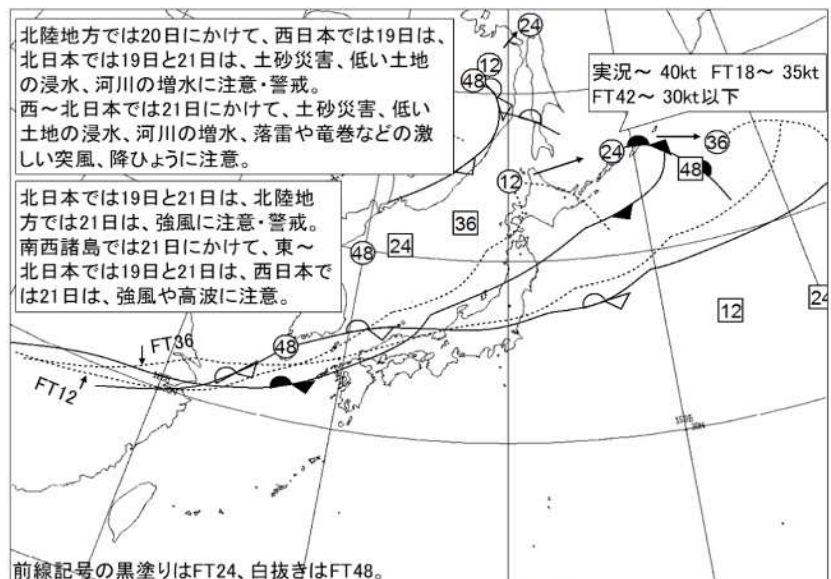


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5460～5760mのトラフが中国東北区を東進。日本海には前線を伴った低気圧があってトラフの接近と共に発達しながら東北東進。前線の南側の朝鮮半島付近では多数の雷を検知。低気圧や前線周辺では風が強く吹いて波が高い所がある。
- ② 高気圧が日本の東を東南東へ移動。高気圧の縁を回る湿った空気の影響で、西日本太平洋側と先島諸島近海で激しい雨を解析。雷を検知。
- ③ 非常に強い台風第30号が、マリアナ諸島を西北西進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は発達しながら19日朝にかけて宗谷海峡付近に進み、20日朝にかけて千島の東へ進む。北日本では19日は、低気圧からのびる寒冷前線が南下し、東北地方～西日本の日本海側では20日にかけて、前線が停滞する。低気圧周辺では強い風や非常に強い風が吹いて、しける所がある。北日本では19日は、強風に注意・警戒し、東～北日本では19日は、強風や高波に注意。
- ② 1項②の西日本太平洋側では、高気圧が東へ移動すると共に更なる暖湿気が流れ込み、降水も次第に東日本へと広がる。南西諸島では暖湿気先端が西進し、影響は次第に小さくなる。また、日本海側でも、2項①の低気圧や前線に向かって下層暖湿気が流れ込む。下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となって雷を伴い激しい雨が降り、大雨となる所がある。特に前線が停滞する地方では、総降水量が増えるおそれがある。北陸地方では20日にかけて、北日本と西日本では19日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、西～北日本では20日にかけて注意。また、西～北日本では20日にかけて、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。
- ③ 南西諸島では1項③の台風第30号周辺を波源とするうねりが次第に高まり、しける所がある。21日にかけて、うねりを伴う高波に注意。
- ④ 20日～21日にかけては、深いトラフがモンゴルから日本海へ進み、20日夜には2項②の前線上のチェジュ島付近に低気圧が発生し、21日は発達しながら日本海からオホーツク海へ進む。低気圧付近では強い風や非常に強い風が吹いて、しける所がある。また、前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴って激しい雨が降り大雨となる所がある。北日本では21日は、強風や土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、北陸地方では21日は、強風に注意・警戒。西～北日本では21日は、強風や高波、大雨災害、落雷や突風、降ひょうに注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考とする。

4. 防災関連事項【量的予報等】①雨量(06時からの24時間): 北陸・近畿 100mm。

②波浪(明日まで): 北海道・東北・北陸・沖縄 4、中国 3m。

5. 全般気象解説情報発表の有無 「落雷・突風」を5時頃発表予定。